

うりこめ! 美郷米

うりこめ美郷応援事業

友好都市である東京都大田区を中心とした大消費地で安全安心な「美郷米」と特産品を売り込み、お互いの交流を深めることで、町特産品のさらなる販路拡大を目指しています。今月は美郷米の販路拡大のために町が行っている取り組みをご紹介します。

■大田区で行われたイベント「全国鶏の木まつり」
区内の小売店から来場者に美郷米がプレゼントされました。

減農薬・減化学肥料栽培による「美郷米」の生産者数と生産面積



美郷米とは、美郷町の豊かな大地と水で育まれた主食用米のことです。近年、消費者の食の安心・安全に対する意識の高まりから、付加価値の付いた農産物が注目されています。このようなか、特に、減農薬・減化学肥料栽培の美郷米は、生産者の顔が見える安心なブランド米として首都圏等での流通量が増加しており、生産面積も年々拡大しています。

心を結ぶ安心
「美郷米」

「美郷米」の生産者のひとりである 近藤輝佳さん(本道町)からお話を伺いました。

秋田県が実施している農業研修を受けた後、21歳で就農しました。研修制度を利用したのは、もともと家族が農業を営んでいたもので、いずれは自分が後継者になるだろうという意識があったからです。

現在、所有するほ場の4割ぐらいで美郷町堆肥センターの堆肥『美郷の大地』を使った減農薬の美郷米を栽培しています。食の安全・安心に消費者の関心が高まり、周囲の生産者がそれに応えた米作りをしようという流れを感じて、自分も挑戦してみようと思いました。一般の栽培方法に比べて収量は減りますが、粒の肌がきれいで、味の良い米ができます。親戚や知人にも他の米と比べて「おいしい」と好評で、やはり消費者の皆さんは「味に敏感だな」と改めて感じました。生産の面では、有機質を加えることにより追肥を減らすことができるので、米以外に花きの露地栽培をしている自分にとっては、二つの作業が重ならないという点でメリットになっています。

先日、今年度1回目の「若手農業者の集い」に参加しました。毎回たくさんの方若手農業者が地区の垣根を越えて集まり、農業政策や技術的なことについてお互いに相談し合い、情報交換をしています。皆さんの意見に刺激を受けて、家に帰ってからも色々なことを考えています。例えば、美郷米であれば、生産組合を設立したり、野菜とセットにして販売することでさらに売り込みを強化できるのではないのでしょうか。また、味の良さや希少性をPRすることも大切だと思います。

首都圏から離れた場所にいる私たち生産者が独自で販路を開くのはとても難しいことです。生産者と関係団体が一体となった取り組みが必要だと感じています。産地訪問ツアーや農作業体験などは非常に良い取り組みだと思います。消費者の皆さんから生産現場を直接見てもらうことで、安全で安心な美郷米をPRすることができそうですし、農業の魅力を感じてもらうこともできます。こうした取り組みが継続され、美郷米の知名度が上がることを期待しています。これからも美郷米の栽培に力を入れていきたいと考えています。



近藤輝佳さん

ご利用ください
美郷産ゆきで元気
応援事業

消費者が求める「安全・安心な美郷産農産物」の生産を進めるため、美郷町内の家畜から排泄される糞尿とモミ殻で製造された安全な堆肥の施用・散布経費の一部を助成しています。

助成対象者

出荷・販売を目的とした農産物を栽培するために、美郷町堆肥センターで製造した堆肥「美郷の大地」を購入・施用した町内の農業者

助成額

1フレコン当たり	1500円
2t車1台当たり	3000円
軽トラ1台当たり	800円
1袋(15kg)当たり	1300円
ペレット1袋(15kg)当たり	2600円

助成を受けるには

美郷町堆肥センターもしくは管内の各農業協同組合店舗で購入します。後日、助成金が交付されます。

※「美郷の大地」は専門機関による検査により、放射性セシウムを含まないことを確認したうえで販売しています。

【問い合わせ】 町農政課 農業振興班

☎0187(84)4908